ポスター作成

|  |
| --- |
| 前時から３週に渡って、自分たちの「研究テーマ」「リサーチクエスチョン」「仮説」について検討しなおし、最終的な考え方をポスターにまとめる作業を行う。  本時は、■月■日のポスターセッションに向けて、ポスター作成にとりかかっていく。今までまとめてきたものを多くの人に的確にわかりやすく伝えることを意識して、取り組んでほしい。  なお、今回のポスター作成ではGoogleスライドを使用する。クラス単位の授業で行った「自動販売機戦略」の際に学んだ発表のポイント、スライドの作り方、Googleスライドの使い方などを、ここで存分に活用すること。 |

■ポスターセッションの特徴

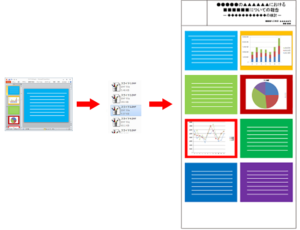
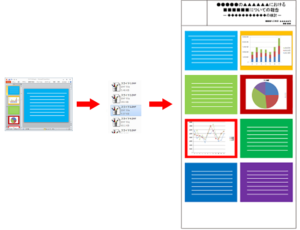
ポスターセッションと、スライドを映し出して大勢に発表する口頭発表と比べると、次のようになる。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | ポスターセッション | 口頭発表 |
| 形式 | 自分の研究成果をまとめたポスターを貼って聴衆に説明する。会場内にたくさんのポスターが貼り出される。聴衆が来たら説明を始め、その後質疑応答をする。説明以外の時間帯でもポスターは貼り出されており、聴衆は自由に見ることができる。 | 会場内に設置されたスクリーンにスライドを映し、それを聴衆に説明する。多数の発表者が順次発表していくので、発表時間や質疑応答の時間制限が厳しい。 |
| 長所 | ・聴衆と深く議論できる  ・聴衆の理解のペースに合わせて説明できる  ・緊張の度合いは少ない | ・一度に多くの人に説明できる  ・発表に盛り込める情報量が多い  ・基本的には発表は一度なので負担が少ない |

（参考文献「これから学会発表する若者のために－ポスターと口頭のプレゼン技術」）

このように、ポスターセッションでは、口頭発表と同様に聴衆に説明する場面と、貼り出したポスターを聴衆が自由に見る（説明しない）場面とが存在する。よって、ポスターを作成するうえでは、一見矛盾する次の２点を意識することが重要である。

|  |
| --- |
| 〇伝えたい情報だけを分かりやすく載せること　　…情報量が多すぎると見る気がしない  〇説明がなくても見るだけで情報が伝わること　　…情報量が少なすぎると内容がわからない |



■ポスターの概要

学会で用いるポスターのレイアウトには、大きく2つのパターンがある。発表内容を６～15枚程度のスライドにまとめてポスターサイズ大の紙1枚にまとめる「スライド配列型」と、図表や写真、文章をポスターサイズ大の紙に自由な位置、サイズでレイアウトする「フリーレイアウト型」である。今回のポスターは「スライド配列型」で作成する。

■ポスター作成の手順

１　Googleスライドで６枚のスライドを作成する

～準備～

(1)　各グループの代表者が「SS課題探究Ⅰ」のClassroomにアップするスライドのファイルをダウンロードする。

(2)　スライドのファイル名を「グループ番号＋研究テーマ」に変更する（例：「1501現在の日本における災害から身を守る住宅」）。このファイル名がポスターの題字に反映されるため、間違えないように注意すること。

(3)　スライドのファイルをグループのメンバーと「共有」する。

～作成～

(4)　スライドを６枚作成する。これ以外の枚数は認めない。６枚のスライドの内容は次のとおり。

|  |
| --- |
| １枚目　研究テーマを決めた背景  ２～３枚目　調べた情報（キーワードマッピング、ロジックツリー、先行研究、５Ｗ１Ｈなど）  ４枚目　リサーチクエスチョン  ５枚目　仮説  ６枚目　今後の方針（現在考えている実験方法、調査方法、理論、実験器具など）や今後の課題 |

(5)　レイアウトは自由とするが、拡大カラー印刷でポスターになることを意識して、図表やグラフ、画像などを用いて、人の目を引き、見やすいものとすること。

２　６枚のスライドを６つの画像ファイルに変換する

～提出準備～

(6)　（スマホでは作業不可のためパソコンで作業すること）メニューバーの「ファイル」→「ダウンロード」から「JPEG画像（.jpg、現在のスライド）」を選択する。すると、現在表示されているスライドが画像（JPEG）ファイルとしてパソコンに保存される。これを６枚のスライドで繰り返して、６枚の画像ファイルを作成する。

(7)　Googleスライドは、画像ファイルに変更するとレイアウトが乱れることがある。作成した画像ファイルを確認し、もしレイアウトが乱れていたらスライドを修正して画像ファイルを作り直す。

(8)　作成した画像ファイルのファイル名を「グループ番号＋研究テーマ＋ページ番号」に変更する（例：スライドの３枚目なら「1501現在の日本における災害から身を守る住宅３」）。

～提出～

(9)　作成したスライドファイル１つと画像ファイル６つの合計７つのファイルを、「SS課題探究Ⅰ」のClassroomにて提出する。提出締切は■月■日（■）とする。

３　変換した画像ファイルを並べて１枚のポスターにし、印刷する。（教員がやります）

(10)　提出された画像ファイル６つを１枚のポスターに並べる。また、ファイル名「班番号＋研究テーマ」をポスターのタイトルとする。

■ポスターの構成

完成するポスターのイメージは右のようになる。ここでは、実際にスライドを作成する前に、それぞれのスライドをどのように作成するのか、伝えたい内容、文字の大きさや色、図表やグラフなどのレイアウトなどについて、グループのメンバーで相談してまとめてみよう。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 研究テーマを決めた背景 |  | リサーチクエスチョン |
|  |  |  |
| 調べた情報 |  | 仮説 |
|  |  |  |
| 調べた情報 |  | 今後の方針や今後の課題 |
|  |  |  |

■完成するポスターのイメージ

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  | |  |
|  | **1501　研究テーマ** | | | **○○　○○**  **××　××**  **△△　△△** |  |
|  |  |  |  | |  |
|  | １  研究テーマを  決めた背景 |  | ４  リサーチクエスチョン | |  |
|  |  |  |  | |  |
|  | ２  調べた情報 |  | ５  仮説 | |  |
|  |  |  |  | |  |
|  | ３  調べた情報 |  | ６  今後の方針や  今後の課題 | |  |
|  |  |  |  | |  |

|  |
| --- |
| ・用紙の色は白、サイズはA1版  ・一番上のタイトルにはグループNo、研究テーマ、グループ員の氏名を記載する  ・一番上のタイトルは、濃い紺色の背景に白字とする（全グループ共通）  ・６つの黒線の枠の中に提出された画像ファイルを配置する（枠の大きさはA4版程度）  ・フルカラー印刷 |

■今後の予定（１学年次）

|  |  |
| --- | --- |
| ■月■日（■） | ポスター作成 |
| ■月■日（■） | ポスター提出締切 |
| ■月■日（■） | ポスターセッション（発表） |